

講義録レポート

講義録コード

00-5-15-201-01

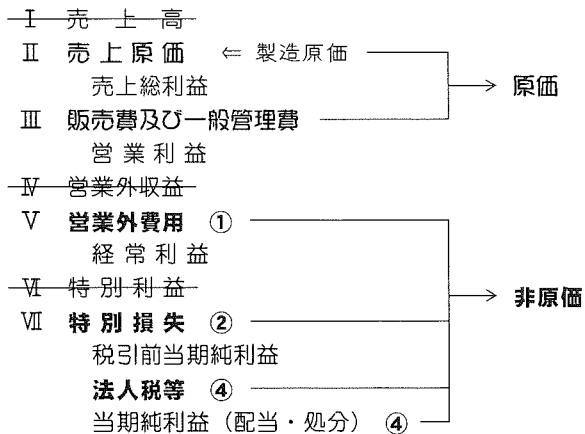
講 座	簿記検定講座	科目①	上級工原
目標年	2015年11月合格目標	科目②	上級講義
コース	1 級レギュラーコース	回 数	1 回
		合格テキスト	Ver.5.0
用 途	☒ 個別DVD・ ☒ 集合DVD ☒ WEB通信・ ☒ DL通信・ ☒ DVD通信・資料通信		

講師名	清水 成彰 先生	内 訳	板書 枚数	1 枚	※レポート 含まず
			補助レジュメ 枚数	5 枚	
			その他 ()	枚	

授業構成	前半85分	
実施テスト	有 ・ ☒ 無	
対応テスト	<ミニテスト>	
	<答練・演習>	
使用教材	●合格テキスト	
	●補助レジュメ	
配布教材		
備考	無料体験講義動画用講義録レポートです。	
	～Web受講生各位～ 黒板を写すカメラのスイッチング（切替）は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に写らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上ご受講ください。受講生の皆様にはご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。	

TAC簿記検定講座（簿記検定講座）

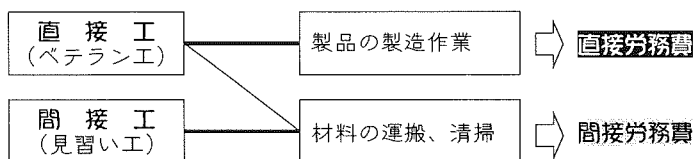
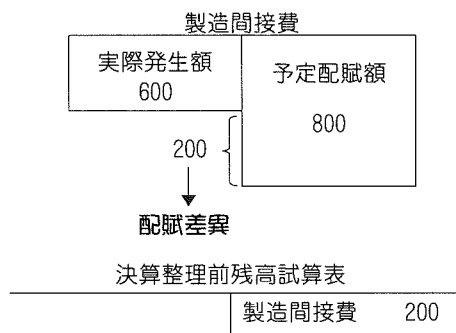
(板 書 内 容)



異常 {

 量的異常… 発生量が異常

 質的異常… 発生原因が異常



予定@600円×直接作業2,400h = 1,440,000円 ⇒ 仕掛品a/cへ
 // ×間接作業 200h = 120,000円 ⇒ 製造間接費a/cへ
 // ×手待 50h = 30,000円 ⇒ 製造間接費a/cへ
 手当@240円×定時間外 100h = 24,000円 ⇒ 製造間接費a/cへ
 実際1,642,000円 ← 予定 1,614,000円
 賃率差異△28,000円

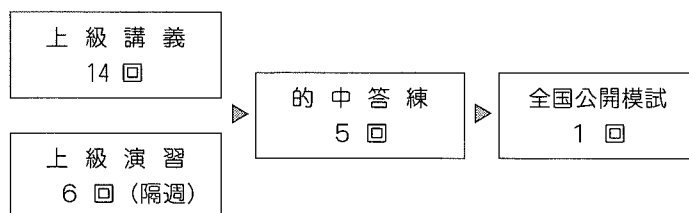
1. 受験目標

第141回日商簿記検定実施日… 平成27年11月15日（日）

2. 上級コースの受講対象者

日商簿記1級の受験経験がある方（学習範囲のすべてを修了済みの方）

3. 上級コースのカリキュラム（工業簿記・原価計算編）



【上級講義】（14回）

日商1級の合格に不可欠な基本論点を講義にて再確認するとともに、問題演習を通じて、総合問題の解き方や問題文章の読み方などを学習します。

【上級演習】（6回）

ハイレベルな総合問題の演習を早期から行うことで、本試験形式に慣れるとともに、問題文の読み取り方や応用問題の解き方を学び、実践力・応用力を養成します。

【的中答練・全国公開模試】（計6回）

TACオリジナルの本試験予想問題の演習を通じ、実践的な解答テクニックの養成と弱点の補強を行います。

4. 使用教材について

（1）INPUT期の主要教材

- ① 上級講義… 合格テキストⅠ～Ⅲ（TAC出版）Ver.5.0

※ 各回に持参して頂くテキストの分冊は、学習進度表にて事前チェックをお願いします。

- ② 上級演習… 答練（総合問題。各回にて配布。）

（2）補助教材

- ① 過去問題集

『合格するための過去問題集』（税別2,000円）

- ② 個別問題集

『合格トレーニング工原（Ⅰ～Ⅲ）Ver5.0』（TAC出版）

5. 校舎別担当講師（関東地区）

水道橋校	… 月曜午前（商会：丹羽）、	木曜午前（工原：清水）	← 先行クラス
池袋校	… 木曜夜（商会：福山）、	月曜夜（工原：神杉）	
新宿校	… 土曜午前（商会：石川）、	土曜午後（工原：清水）	
横浜校	… 日曜午前（商会：小野木）、	日曜午後（工原：佐藤）	

注）その他、各地区とも、毎週水曜日に上級演習（答練）を実施します。初回は商会、次の週は工原と、隔週で交互に実施します。実施時間は、水道橋校が水曜午前、その他の校舎（池袋校、新宿校、横浜校）が水曜夜です。担当者は上記校舎別担当者と同じです。

6. 通学講座のフォロー制度（詳細は「受講ガイド」p. 41、42参照）

（1）欠席フォロー

- ① クラス振替出席フォロー（他クラス・他校舎へ自由に振替可）
 - ② 個別DVD振替フォロー（校舎の個別DVDブースでの視聴。要予約。有料・税込み500円/回）
 - ③ Webフォロー（有料）
 - ④ 音声DLフォロー（有料）
- } 通学本科生は標準装備

（2）クラス重複出席フォロー（同一クール内の同じ回の生講義を、2回まで受講可）

7. 質問電話番号

簿記検定講座講師室（直通） 03（5276）8916

	月	火	水	木	金	土	日
PM 2:00 ~ PM 5:00	○	○	○	○	○	×	×
PM 6:00 ~ PM 8:00	○	×	○	×	○	×	×

日商1級上級コース 工業簿記・原価計算 上級講義 ～ 第1回 ～

1. 上級講義とは

日商1級の合格に不可欠な基本論点を講義にて再確認するとともに、問題演習を通じて、総合問題の解き方や問題文章の読み方などを学習します。

2. 合格するために

(1) 基本が大切！

基本がしっかり固まっていると、ひねられても応用が利くようになります。単に計算出来るだけではダメ！折に触れてテキストに戻り、計算内容の意味や、その理論的背景を理解するようにしましょう。

(2) 問題演習（アウトプット）をこなしましょう！

自らが蓄えた知識を答案用紙にアウトプットする形式の試験である以上、アウトプット・トレーニング（問題演習）は不可欠です。**食欲に問題をこなしましょう。**必要な教材をすべて潰すくらいの意欲が欲しいです！また、出来なかった問題や、手こずった問題は何度も反復しましょう！

(3) アウトプット・トレーニングは、見直し作業がカギ！

なかなか合格出来ず受験勉強が長期にわたる方は、問題を解いた後、**解答解説を一通り見て、計算内容を確認したら、それで復習が終わりと思ってしまう**傾向が強いです。これでは、その計算の意味や必要性が理解出来ず応用が利かなくなってしまう。そこで、復習にあたっては、① ミスした原因、わからなかった原因を究明する、② テキストに戻ってその関連知識を補強する、③ **同じ過ちを繰り返さないためにはどうしたらよいか、その対策を考え工夫する、**ことが大切です。これら3つのポイントを確実にこなすことで、アウトプット・トレーニングはより大きな効果を発揮します！

(4) 学習計画を立てましょう！

学習計画を立てず、テキストの第1分冊から第2分冊、その後第3分冊と復習してゆく方が多いです。たしかに、順序よく学習すること自体は悪いことではありません。しかし、受験のたびに、本試験の直前ギリギリになって、ようやく苦手な第3分冊の復習に取りかかるために、第3分冊だけ「ヤツツケ」的な勉強になっている、という方が目立ちます。これは、学習計画を立てず、やみくもに学習している証拠であり、受験期間が長期化してしまう原因ともいえます。これでは、ほとんど何も身につかないまま本試験を迎えるハメになります。

計画を立て、苦手論点こそ手厚く勉強できるようにしましょう！なお、学習が計画と寸分違わず実行できることが稀なので、計画はザックリとしたものでかまいませんが、実態と乖離したときにはその都度、学習計画を見つめ直すことが必要です。

3. 第1回上級講義の内容

〔費目別計算、製造間接費会計〕 テキストⅠ：p2～p103

「製造原価明細書および損益計算書を作成」を、「各勘定の記入を完成」に変更します。

【設例 2-1・改題 解答欄】

注：[]内は適切な相手科目を、()内は金額を記入して下さい。

なお、不要な欄には「-」を記入して下さい。

材 料		仕 掛 品	
前期繰越 ()	仕 掛 品 ()	前期繰越 ()	[] ()
買掛金他 ()	製造間接費 ()	[] ()	次期繰越 ()
	次期繰越 ()	[] ()	
()	()	製造間接費 ()	()
		()	()

賃 金		製 品	
現金預金 ()	[] ()	前期繰越 ()	売上原価 ()
[] ()	仕 掛 品 ()	[] ()	次期繰越 ()
	製造間接費 ()	()	()
()	()		

給 料		売上原価	
現金預金 ()	[] ()	製 品 ()	
[] ()	[] ()	配賦差異 ()	
()	()		

経 費	
現金他 ()	仕 掛 品 ()
	製造間接費 ()
()	()

製造間接費	
[] ()	[] ()
[] ()	[] ()
[] ()	
[] ()	
()	()

製造間接費配賦差異	
[] ()	[] ()